

## 開会の挨拶 (第56回東北学院大学経営研究所研究会)

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2024-07-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 棚橋, 則子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000302">https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000302</a>

## 開会の挨拶

棚 橋 則 子

東北学院大学経営学部准教授

それでは第56回経営研究所研究会を始めたいと思います。きょうは中央大学商学部教授の山口朋泰先生に『日本企業の経営者はビジネス活動を通じて利益を調整しているのか？』というテーマでお話しいただきたいと思います。簡単に先生をご紹介すると、山口先生は東北大学大学院経済学研究科を修了後、本学に着任され、実は数年前まで一緒に働いていました。現在は中央大学で研究と教育に邁進されています。

ご専門は経営者の利益マネジメントという、ちょっと聞き慣れない言葉かもしれませんが、この分野の第一人者と言っても過言ではないと思います。また、2021年に先生がご出版されたこの本が数々の賞を受賞されました<sup>1</sup>。きょうの研究会では、これまで先生が行った研究を時間の許す限りお話しただこうと思います。

それでは、私が話していると時間が短くなってしまいますので、早速、山口先生にバトンを渡したいと思います。では、山口先生よろしく申し上げます。

---

1 ここで紹介している本は以下になります。山口朋泰（2021）『日本企業の利益マネジメント——実体的裁量行動の実証分析』中央経済社。今回の研究会では、先生のご著書の内容を中心にお話しいただきました。